

熱性けいれん時の対応



熱性けいれんについて

発熱（主に38℃以上の高熱）に伴う
けいれんは一過性で、10分以内でおさまることが多い
発熱して24時間以内にけいれんすることが多く、それ以降は少ない
赤ちゃんの脳の神経細胞が未熟なためおきると考えられている



どんな症状がでるの？

- ・手足にぐーっと力が入る
 - ・手足ががくがくとふるえる
 - ・白目になったり、一点を凝視する
 - ・呼びかけてもまったく反応がない
- など



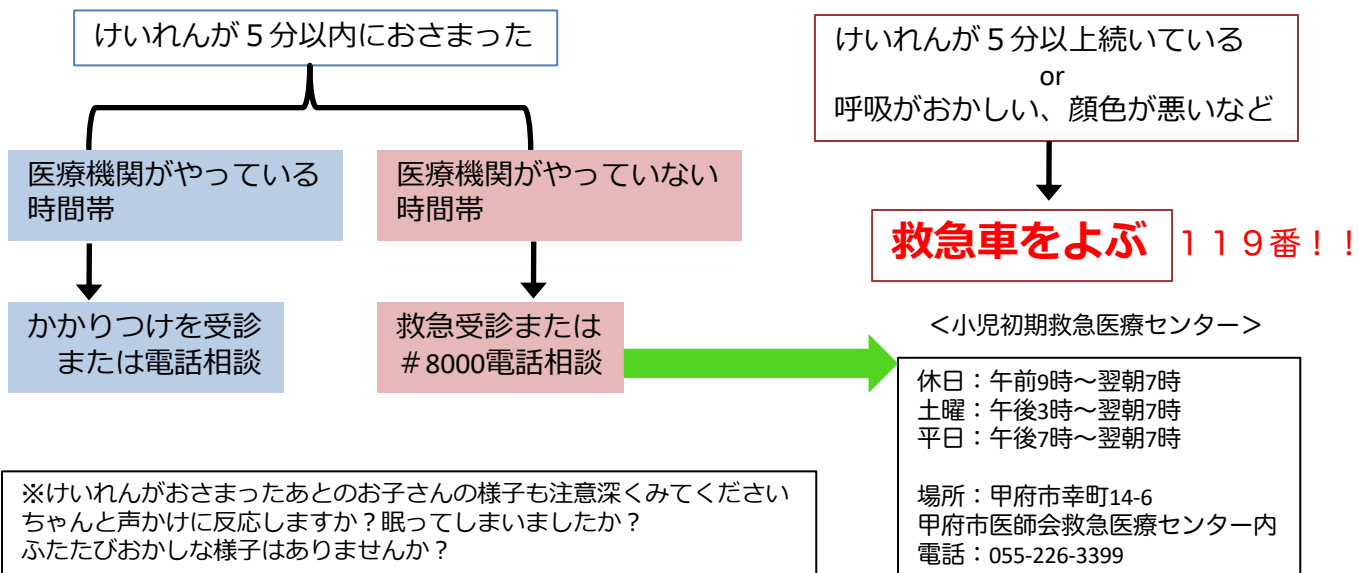
～けいれんしたらどうしたらいいの？～

- ★あわてない！おちついてお子さんの様子を見ます
- ★時間を確認いま何時？けいれんが始まった（おかしいと気づいた）時間
- ★からだのようすを確認からだの右も左も同じような動き？
左右差がある？
目のうごきはどうか？
呼吸や顔色は大丈夫？
- ★顔を横に向ける嘔吐した場合に備えて顔は横に向けて衣類もゆるめましょう

これはしないで！

- ・はげしく揺さぶる
- ・大声で名前を呼ぶ
- ・口の中に指などをいれる
- ・水分や薬をとらせようとする

* * けいれん時のフローチャート * *



※けいれんがおさまったあとのお子さんの様子も注意深くみてください
ちゃんと声かけに反応しますか？眠ってしまいましたか？
ふたたびおかしい様子はありますか？